



熊本地震と居住支援

～避難所から仮設住宅、そして自立に向けた居住支援～

日時：2017年**1月31日**（火）13：30～16：30
（受付開始 13：00～）

会場：熊本市国際交流会館
6階 ホール

主催：熊本市居住支援協議会
共催：熊本市
後援：熊本県居住支援協議会



Saflanet

事務局：熊本市北区貢町780-8
☎ 096-245-5667 Fax 096-288-1753
URL <http://saflanet.com>

シンポジウムの概要

【基調講演】 13：30～14：50

一部：熊本市の取り組みについて（13：30～13：50）

下錦田 英夫 氏（熊本市政策局復興部住宅再建支援課主幹）

二部：災害支援の網の目からこぼれ落ちる障がい者（13：50～14：50）

東 俊裕 氏（熊本学園大学教授）

弁護士・2007年より熊本学園大学社会福祉学部教授・2009年内閣府本府参与・2010年内閣府障がい者制度改革推進会議担当室室長・2012年内閣府障がい者制度改革担当室室長・2014年再登録・現在は熊本学園大学社会福祉学部教授・被災地障害者センターくまもと事務局長

【パネルディスカッション】 15：00～16：30

現場からの報告 ～対象者のステージに応じた支援～

熊本市一新校区自治協議会

熊本市地域包括センター連絡協議会

国際交流振興事業団

熊本市母子・父子福祉センター

日本賃貸住宅管理協会熊本県支部

日 時：2017年1月31日（火）13：30～16：30

参加料：無料

会 場：熊本市国際交流会館 6階ホール

申込方法：下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、申込をお願いします。

申込期間：2017年1月16日（月）～1月25日（水）

4月14日前震、16日の本震により、多くの市民が被災し、避難所生活を強いられました。それから半年かけて、避難所も閉鎖され、仮設住宅等へ移られましたが、未だ生活の地に不安を感じられている方や住居を見つける事が困難な方も多くおられます。災害は、高齢者・障がい者・子ども・女性・外国人等に大きな混乱を与えています。

このような災害弱者への支援を通して、避難所から仮設住宅へ、そして自立に向けて、私たちは今後どのような視点で復興に繋げていくのか？この作業は行政だけでは進みません。NPO、企業そして行政が互いの特徴を活かしつつ、連携を深めていかねばなりません。

今回のシンポジウムは「熊本地震と居住支援」をテーマに各現場での報告を頂き、市民協働の視点で住宅確保が困難な高齢者・障がい者・子育て世帯・外国人等への支援について共に考える機会にしたいと思います。

住まいが不安定ならば、生活再建は始まりません。「大地震」、私たちが住む日本ではどこで起こっても不思議ではありません。だからこそ、熊本地震を経験した私たちが居住支援という形での、復興支援をいま考える事が、私たちの使命だと感じています。震災後、私たちは多くの方々の支援を受けました。その中で復興への歩みをようやく踏み出す事ができたと思います。多くの関係の皆さまのご参加お待ちしております。

参加申込書 (☎ 096-245-5667 熊本市居住支援協議会 Fax 096-288-1753)

氏名	所属	TEL/FAX	連絡先・住所等

主催 熊本市居住支援協議会